

# 中部インタークラブゴルフ競技、 17年ぶり本戦出場！

2025年10月3日(金)に当クラブで行われた、中部インタークラブ競技北陸地区予選において、ツインフィールズチームが41クラブ中4位の成績で2008年以来17年ぶりに本戦出場を果たすことができました。本戦は、2025年11月5日(水)に片山津ゴルフ倶楽部で開催され、結果は21位でした。



団体として決勝進出が決まった時の、今の率直なお気持ちをお聞かせください。

- ★★★ **A** 研修会として長年の目標で17年ぶりに決勝進出が出来た事は、最大の喜びです。  
今回多くの支援と応援をいただき、選手の大きな力になったと思います。  
★★★ 今までのご支援に感謝いたします。



川島 悟監督



日頃の練習やラウンドを通じて、チームメンバーとどのように連携し、今回の予選に臨みましたか？

- ★★★ **A** 選考ラウンドではメンバーの構成に工夫を凝らすと共に、他クラブ研修会とのオープン戦を企画、選手達に刺激と経験の機会を作りました。  
★★★

谷村 昭彦キャプテン



今回の大会に向けて、ご自身が特に重点的に調整した部分や、強化した技術はありますか？

- ★★★ **A** ショットの安定性を重視しました。  
★★★



予選ラウンド全体を通して、ご自身のスコアメイクやプレーは、チームにどのような貢献ができたとお考えですか？

- ★★★ **A** チームの中ではポイントを取らなければいけない自覚があったので、実行出来て良かったです。  
★★★



チームメンバーの中で、あなたのプレーを最も支えてくれた、または刺激になった出来事やアドバイスはありますか？

- ★★★ **A** 練習ラウンドでは調子も良く、自分がポイントゲッターになるとの意気込みで取り組んでいました。  
★★★

二木 剛選手



団体戦という形式は、プレー中のプレッシャーや戦略にどのような影響を与えたか？個人戦との違いを感じた点があればお聞かせください。

- ★★★ **A** 上手くいかない時間帯があっても集中を切らさず、最後までやり遂げなければならない点です。  
★★★

柚木 陽介選手



ホームコースで開催されるクラブ選手権は、あなたにとってどのような意味を持ちますか？また、本戦に向けてどのような意気込みで臨れますか？

- ★★★ **A** ホームコースでの開催ということで変に自分に無駄なプレッシャーを与えることはせずに、普段のラウンドと変わらないように回ろうと意識して臨みました。

神田 賢宏選手



ゴルフを始めたきっかけや、今回の結果につながった原動力は何ですか？

- ★★★ **A** 研修会に入った時から、会員の皆様のゴルフに対する競技姿勢に共感し、一緒にプレーすることで充実したゴルフライフを重ねてきました。  
★★★ 今回一つの大きな成果を得ることができ嬉しく思います。

前 喜久次選手



会員の皆様のご声援、ありがとうございました。